

## 5 産業労働企業委員会における金子正江県議の質疑

2016年10月7日

### 付託議案に対する質疑

#### Q．金子委員

- 1 データ収集・分析は、これまでも同様の調査結果の蓄積があるのではないかと。これまでのものと何が違うのか。
- 2 補助対象期間中の事業の進捗状況についてどう把握して公表していくのか。
- 3 日本版DMO候補法人と市町村や市町村の観光協会との関わりはどのように考えるか。

#### A．観光課長

- 1 宿泊のキャパシティなどは一定の時期のものがあるが、戦略策定のために最新データが必要である。これまでの調査では国内外の観光客の本県観光に対する認知度等の調査は行っていないが、今後はインターネットなどで国内外の観光客に対し調査を行い、強み、弱みを明らかにしていく。
- 2 事業の進捗はPDCAサイクルを徹底する。日本版DMO候補法人とは、事業の進捗などを議論する場として協議会を設置する予定だが、ここでも進捗管理を行い結果を公表していく。
- 3 県内市町村との連携は県でも行う。市町村の観光主管課や観光協会のほとんどが埼玉県物産観光協会の会員となっているため、会員として深く関わることもできる。日本版DMO候補法人となってもこれを生かし連携していく。